

決定版!この1冊で **疲れた体と心を整える**

いつまでもわいわい楽しく

# 若々

健康生活

9月号 2022

後悔はしたくないから やりたいことをしよう

わかわか対談 田中 律子

とじ込み付録 わかわか 脳トレ&眼トレ Book

再発率ゼロの専門医に聞く

それって本当に「うつ病」?

## 「心バテ」を治す 7つの方法

やる気が出ない... 夏バテ

着けるだけで 目の疲れが断然違う!

話題の次世代メガネ 「セラピーグラス」を徹底調査!

腹痛・下痢・便秘・ガス 心のSOSかも?過敏性腸症候群

スマホ PC 読書

断捨離で心スッキリ! 運氣も上向く

思い切って整理した洋服や靴をゴミにしない!

# こんなかたたちの社会貢献もあつたんだ

クローゼットにしまい込んだ捨てられなかった洋服や靴。これらが誰かの役に立つと知ったとき、気持ちよく手放すことができました。



ささやかな気持ちで  
世界をつなぐ  
社会貢献

大きなことはできないけれど「誰かの役に立ちたい」そんな風に考えたことはありませんか。そんなとき見つけたのが「古着deワクチン」。

不要になった洋服や靴を送ることで、障がい者支援や開発途上国に貢献できる取り組みです。このSDGs(持続可能な開発目標)にもつながる取り組みに参加するのは、とても簡単。

専用回収キットを購入して、着なくなった洋服や靴を届いた袋に詰めて送るだけ。専用回収キットの代金の一部



※衣類回収袋のデザインは変更されることがございます。予めご了承ください。

## 世界で活躍したい障がい者アーティストを応援

「一般社団法人障がい者アート協会」と連携し、「古着deワクチン」の衣類回収袋のデザインを募集したところ70件ちかくの応募がありました。採用されたのは、視覚障がい者アーティスト庫美原(くらみはら)さんの「たまのお」。リユースされた着物の帯がたくさん洋服を包んでいる中に、着物の温かさと人とのつながりを表現した素敵な作品です。

## 雇用促進&障がい者の自立支援

「古着deワクチン」の取り組みは、国内外の雇用促進や障がいのある方の自立支援につながり開発途上国のビジネス創出に貢献しています。国内のセンターに集められた洋服は、カンボジアの選別センターに送られ分類されます。分類作業は、現地のポリオ障がいのあるスタッフやストリートチルドレンだった若者たちが行っています。

## 古着deワクチン

クローゼットから世界につながる社会貢献の仕組み  
あなたのクローゼットから旅立った洋服や靴がどこでどんなふうに使われているのか。世界につながる社会貢献の仕組みを解説します。

### 購入1口につき5人分のワクチン

専用回収キット代金の一部が「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会」に寄付され、5人分のポリオワクチンに。すでに4,322,463人分のポリオワクチンがミャンマー、ラオス、ブータン、バヌアツに届けられました。※2022年7月31日時点



### リユース&売上の一部もワクチン代に

選別作業で仕分けられた洋服は、カンボジアをはじめとする30カ国などで販売。あなたが大切にしていた洋服は新たな持ち主によって活かされるのです。さらにここでの売上の一部もポリオワクチン代として寄付されています。



## 簡単3step

### 1 専用回収キット注文



電話またはWEBで専用回収キット3300円(税込)を注文。数日後にキット(衣類回収袋、ご案内)が届きます。段ボールを準備したり、送料を振込んだりする手間も不要!

### 2 まとめて詰める



衣類回収袋は160サイズの段ボールとほぼ同容量で約30kg入れられる仕様。冬物のコートやダウンも思っている以上にたっぷり入ります。重くなるので詰めるときはぜひ玄関で。

### 3 送る



送付のための伝票は不要!電話又はWEBで集荷を依頼するだけ。

は世界の子どもたち5人分のポリオワクチンにあてられ、世界での活躍を夢みる障がい者アーティストを応援することもできるのです。そして、あなたのクローゼットから役目を終えた洋服が世界へ旅立つとき、現地では新たな雇用が生み出されます。捨てることに抵抗を感じて大切に保管していた洋服も、こうして誰かの役に立ち、また誰かがその洋服を大切にしてくれると思えば気持ちよく手放すことができますね。

洋服を送り終わったときにはクローゼットも心もスッキリ!そして何とも言えない充足感に満たされるに違いありません。リピーターが多いのも納得です。

お申込はお電話又はWEBから

「古着deワクチン」コールセンター

お問い合わせ 0120-206-225

注文専用

0120-126-316

9:00-17:00 (年末年始を除く)



モデル 大西一栄 取材 田中由香里